


令和 4 年度 (令和 3 年度実施)
 高知県公立学校教員採用候補者選考審査
 筆記審査 (専門教養)
 中学校 高等学校 特別支援学校 中学部・高等部
 国語

受審番号		氏 名	
------	--	-----	--

【注意事項】

- 1 審査開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見ないでください。
- 2 解答主紙 (マークシート) は 2 枚あります。切り離さないでください。

- 3 解答主紙 (マークシート) は、2 枚それぞれに下記に従って記入してください。
 - 記入は、HBの鉛筆を使用し、該当する  の枠からはみ出さないよう丁寧にマークしてください。

(良い例) 
 マーク例

(悪い例)   

- 訂正する場合は、消しゴムで完全に消してください。
- 氏名、受審する教科・科目、受審種別、受審番号を、該当する欄に記入してください。

また、併せて、右の例に従って、受審番号をマークしてください。

※ 正しくマーク (正しい選択問題への解答及びマーク) していないと、正確に採点されませんので、注意してください。

受 審 番 号	
万	千 百 十 一
1	0
2	0 1
3	0 1 2
4	0 1 2 3
5	0 1 2 3 4

記入例

(受審番号 1 2 3 4 5 の場合)

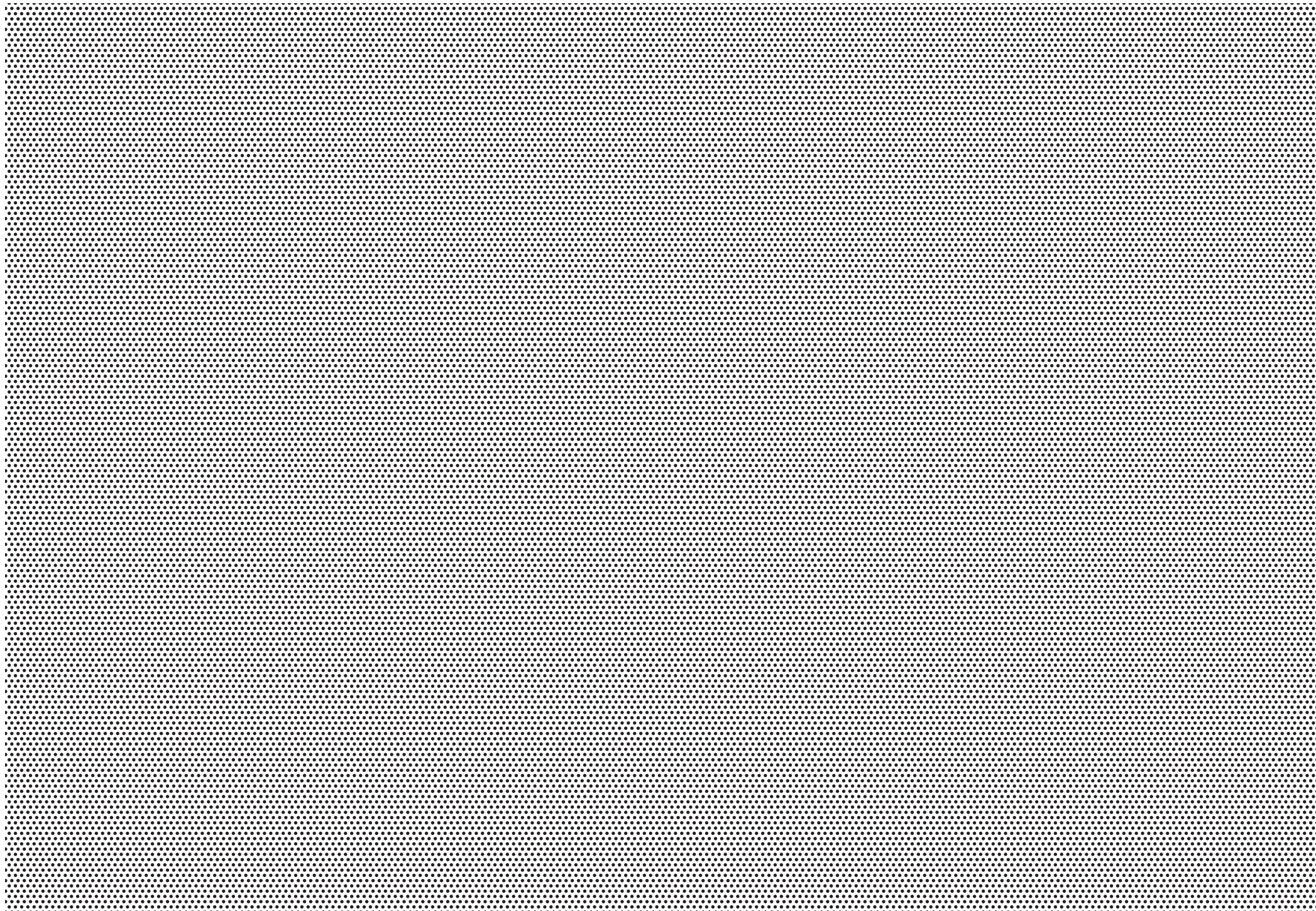
- 4 この問題は、【共通問題】、及び【選択問題 中学校】、【選択問題 高等学校】、【選択問題 特別支援学校】の各問題から構成されています。選択問題で受審種別以外の問題を選択して解答した場合、解答は全て無効となります。

- 5 解答は、解答主紙 (マークシート) の解答欄をマークしてください。例えば、解答記号 ア と表示のある問いに対して b と解答する場合は、下の (例) のようにアの解答欄の b をマークしてください。
 (例)

ア																					
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	--	---	---	---	---	---	---	---

なお、一つの解答欄に対して、二つ以上マークしないでください。

- 6 筆記審査 (専門教養) が終了した後、解答主紙 (マークシート) のみ回収します。監督者から指示があれば、この問題冊子を、各自、持ち帰ってください。



〔共通問題〕

第1問 次の1～4の問いに答えなさい。

1 次の(1)～(4)の傍線部の漢字と同じ漢字を含むものを、あとのa～eの中からそれぞれ一つ選びなさい。

(1) 昼夜ケンコウで突貫工事を行った。 ア

- a ケンヤクを旨とした質素な生活を送る。
- b 投手が塁上の走者をケンセイする。
- c 今回の出来事は世に広くケンデンされた。
- d 設立のためのケンパク書を出す。
- e 選手と監督をケンニンする。

(2) 創立百周年を記念して、ソウゴンな式典が催された。 イ

- a 会社のソウム課に、扶養書類を提出する。
- b 友達の話に、思わずソウゴウを崩してしまった。
- c ソウショ体で文字を書く。
- d 夏の間は軽井沢のベッソウで暮らす。
- e 冬はカンソウするので、風邪に注意が必要だ。

(3) 相手の油断について、背後からキシユウをかける。 ウ

- a 歌舞伎のシユウメイ披露公演が行われた。
- b 皆に推されて、派閥のリョウシユウになった。
- c 英語のシユウジ法について、高校で学ぶ。
- d 大きな銀行の頭取にシユウニンする。
- e 引退試合に勝って、ユウシユウの美を飾った。

(4) キカク外のサイズの封筒を使う。 エ

- a 人工衛星のキドウを制御する。
- b キキ歌謡の研究を行う。
- c 昨日はカイキ月食が見られる日だった。
- d 会社のキノクに従って取り扱う。
- e 俳句を作る上でのポイントの一つは、適切なキゴを用いることだ。

2 次の(1)・(2)の問いに答えなさい。

(1) 読み方の間違っている熟語を、次のa～eの中から一つ選びなさい。

オ

- a 思惟 b 充填 c 誤謬 d 巷間 e 批准

(2) 「毀」という漢字の総画数として適切なものを、次のa～eの中から一つ選びなさい。

い。 **カ**

- a 十画 b 十一画 c 十二画 d 十三画 e 十四画

3 次の(1)・(2)の問いに答えなさい。

(1) 四字熟語とその意味として適切でないものを、次のa～eの中から一つ選びなさい。

キ

- a 一日千秋 ↓ 一日が千年に思えるほど待ち遠しい気持ち。
 b 会者定離 ↓ 会う者は必ず別れる運命にあること。
 c 自家撞着 ↓ 自分自身の意見に最後まで固執すること。
 d 一朝一夕 ↓ きわめて短い時間。
 e 虚心坦懐 ↓ 何のわだかまりもなく、さっぱりした心。

(2) 慣用句の使い方として適切でないものを、次のa～eの中から一つ選びなさい。

ク

- a 仕事がつつくて、少し働いただけで顎を出した。
 b 追い詰められた彼は、尻をまくって逃げ出した。
 c 余りに内容が難しすぎて、自分の手に余る課題だった。
 d あれだけ一生懸命働いたのに、雀の涙ほどの退職金しか出なかった。
 e 彼は辣腕の刑事で、解決した難事件は十指に余る。

4 次の(1)・(2)の問いに答えなさい。

(1) 次の各文に含まれる「よう」について、推量の用法で使われている助動詞「よう」を、次のa～eの中から一つ選びなさい。 ケ

- a 私も彼にならって、絵を描いてみよう。
- b 彼の心情は、容易に理解されよう。
- c 君もみんなと一緒に、サッカーの練習をしよう。
- d 問題がやさしすぎたようで、みんな点がいい。
- e 毎日、英語の学習を継続的にしよう。

(2) 次の各文に含まれる「さえ」について、類推の用法で使われている助動詞「さえ」を、次のa～eの中から一つ選びなさい。 コ

- a あのミスさえなければ勝っていただろう。
- b コーヒーさえあればよい。
- c この薬さえ飲めば治る。
- d 風の上に雨さえ降り出した。
- e 水さえのを通らない。

第2問 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

（八木沢敬「『論理』を分析する」による。一部省略等がある）

1 傍線部①「釣り鐘をつくの裁縫針を使ったり、ボタンをつけるのに撞木を使うのは喜劇以外の何物でもない」とあるが、その理由として最も適切なものを、次のa～eの中から一つ選びなさい。 ア

- a 道具は、その目的に応じて理にかなった使い分けが必要で、目的を取り違えて裁縫針や撞木を使うのは目的達成からは程遠く滑稽であるから。
- b 道具は、本来、達成すべき目的に応じて使い方の工夫が求められ、裁縫針や撞木を工夫なく用いるのは安易な発想でしかなく論外であるから。
- c 道具は、その目的達成に向けてより最適な選択をする必要があり、何の意図もなく裁縫針と撞木を持つてくるのは甚だ迷惑な冗談であるから。
- d 道具は、そもそも目的達成のために複数の種類から選択可能で、ここでは裁縫針と撞木の使用だけを前提としていること自体がおかしいから。
- e 道具は、目的達成の必要性から苦心して発明されたもので、裁縫針と撞木を間違っ

2 文章中の②に当てはまる言葉として最も適切なものを、次のa～eの中から一つ選びなさい。 イ

- a したがって
- b ただし
- c また
- d すなわち
- e だが

3 傍線部③「プラクティカル」は、「実際の。実用的。」という意味であるが、カタカナ語とその意味として適切でないものを、次のa～eの中から一つ選びなさい。

ウ

- a アイロニー …… 皮肉。あてこすり。
- b プリミティブ …… 原始的なさま。素朴なさま。
- c ラジカル …… 根本的。急進的。
- d カオス …… 混沌。大混乱。
- e オプティミズム …… 厭世主義。悲観論。

4 傍線部④「わたしたちがリアリティーに向かい合う際に使う道具に論理性は属する」とあるが、筆者がこのように述べるのはなぜか。その説明として最も適切なものを、次のa～eの中から一つ選びなさい。

エ

- a わたしたちは目の前のリアリティーに対応する時、意図的に論理を取捨選択しており、その論理性は論理を使うわたしたちの技量に依存する特徴であるから。
- b わたしたちは目の前のリアリティーに対処する時、その目的達成に合った論理を使い分けており、その論理性はリアリティーへの対処方法の特徴であるから。
- c わたしたちは目の前のリアリティーと向き合う時、解決に必要な論理を選択しており、その論理性はリアリティーと論理の両方に包摂される特徴であるから。
- d わたしたちは異なるリアリティーと出会った時、無意識に論理を選別しており、その論理性はわたしたちの都合で使う論理を支える本質的な特徴であるから。
- e わたしたちは異なるリアリティーに対峙する時、その距離を保ち俯瞰的に論理を選んでおり、その論理性はリアリティーの中には存在しない特徴であるから。

5 傍線部⑤「真理」と同じ組み立てで構成されている熟語を、次のa～eの中から一つ選びなさい。

オ

- a 悲哀
- b 往還
- c 世論
- d 無恥
- e 合掌

6 傍線部⑥「論理の非リアリズム」について、ここでの「論理学」と「リアリティー」の関係の説明として最も適切なものを、次のa～eの中から一つ選びなさい。

カ

- a 論理学はリアリティーと無縁な人工物にすぎず、わたしたちが働きを統御している。
- b 論理学はリアリティーの実像として存在し、わたしたちと一定の距離を保っている。
- c 論理学はわたしたちのすぐそばに存在しており、リアリティーとは壁を隔てている。
- d 論理学はわたしたちとリアリティーに挟まれており、双方から完全に独立している。
- e 論理学はわたしたちとリアリティーとのあいだにあり、わたしたちに依存している。

7 傍線部⑦「おかどちがいだ」の文章における意味として最も適切なものを、次のa～eの中から一つ選びなさい。

キ

- a 役不足だ
- b ぶしつけだ
- c 非常識だ
- d 見当ちがいだ
- e 奇抜だ

8 傍線部⑧「この事実」とあるが、その内容として最も適切なものを、次のa～eの中から一つ選びなさい。

ク

- a 道具の価値は、人間とは独立のリアリティーにある対象との距離感で決まること。
- b 道具の機能は、人間とは独立のリアリティーにある対象への関わり方で決まること。
- c 道具の価値は、対象となる独立のリアリティーの特徴への正しい理解で決まること。
- d 道具の機能は、技術の進歩が対象との関わりを超えた域まで到達したかで決まること。
- e 道具の機能は、対象との関係よりも発明する側の人間の試行錯誤によって決まること。

9 文章中の⑨に当てはまる言葉として最も適切なものを、次のa～eの中から一つ選びなさい。

ケ

- a 使用する人にかんするリアリティー
- b ノコギリにかんするリアリティー
- c 櫛の木にかんするリアリティー
- d ノコギリの性質に見合ったデザイン
- e 櫛の木の性質に見合ったデザイン

10 本文の論の展開や表現上の工夫についての説明として最も適切なものを、次のa～eの中から一つ選びなさい。 コ

- a 結論の明示から始まり、本論では逐一その論拠となる具体的な個別の事例を挙げながら詳しく説明し、最後に再び同様の結論を強く主張している。
- b 一つの立場の紹介から始め、関連する他の立場や考え方についても例を挙げながら自身の見解を述べつつ、最後は別の立場を援用することで論の方向性を示している。
- c 最初に筆者と異なる第一の立場を示して、それを含む第二、第三の立場についても反証によって全否定し、最後は第四の立場として新しい提案を行っている。
- d 批判的な視点から既存の主たる立場や考えについて懐疑的に捉え直すことで論を展開し、最後に、今後、議論すべき点や方向性を提起する形で読者に呼びかけている。
- e 序論と本論において比喩を多用することにより、難解な理論や専門用語への読者の抵抗感を和らげ、最後に示す筆者独自の結論への賛同を促している。

11 本文の内容に合致するものとして最も適切なものを、次のa～eの中から一つ選びなさい。 サ

- a 論理は人工的に発明された道具であるからこそ、論理の非リアリズムをそのまま受け入れる態度を保つことで、論理学という学問における主題もより明確になる。
- b 論理は人間の発明であってもリアリティーに内在するため、それを使いこなすには対象を客観的に分析し、わたしたちのあいだへと引き寄せる工夫が求められる。
- c 論理が人間によって発明された道具だとしても、論理性はあくまで対象のリアリティーに内在する性質であるため、その有用性も対象との関係により制限される。
- d 論理と道具には類似点が多いからこそ、実際に道具が使われている対象との関係性を相対的に捉えて共通点を見つければ、論理学において新たな発見につながる。
- e 論理の道具説だけでなく、新たに道具の対応説も受け入れて論理のリアリズムを追究する意義について再考しないと、論理の実体は不明瞭なものになりかねない。

第3問 次の文章は『今鏡』中の一節である。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

大納言延光ニ醍醐帝の孫、保明親王の子。
所の雑色ニ蔵人所に所属する雑色のこと。
祿ニご祝儀。

内蔵寮ニ中務省に属し、供進の服などをつかさどる。
釋奠ニ毎年二月と八月に大学寮で行われる孔子の祭典。

鶴九つの臯に鳴くニ『詩経』小雅にある「鶴鳴」の詩に由来する。「鶴鳴」には「鶴鳴于
九臯」の句があり、「曲がれる沢に鶴が鳴く」の意。

蓬が島ニ蓬莱山。三神山の一。中国の伝説で、東海中にあつて仙人が住み、不老不死の
地とされる霊山。

霞の袂いまだ逢はずニ仙人に逢い得ない。

(『今鏡』昔話第九「葦たづ」による)

- 1 傍線部①「年頃」、⑤「ひがごと」のここでの意味として最も適切なものを、あとの a～e の中からそれぞれ一つ選びなさい。

①「年頃」

- a 現在のところ
- b 過去には
- c 最近は
- d 時々
- e 長年の間

⑤「ひがごと」

- a 間違い
- b ねたみ
- c 意地悪
- d うぬぼれ
- e ひねくれ

- 2 傍線部②「いとほしみあるべかりけるをば」の解釈として最も適切なものを、次の a～e の中から一つ選びなさい。

- a 素直で気が利く性格であるにも関わらず
- b 文章が大変難解でよく理解もできないのに
- c 貧困にあえぐ生活をしているにも関わらず
- d 格調が高く家の筋目も高貴であるのに
- e 目をかけてもよいほどの出来栄えなのに

- 3 傍線部③「ことわり申す限りなくて」とあるが、誰のどのような状態のことを言っているのか。その説明として最も適切なものを、次の a～e の中から一つ選びなさい。

- a 藤原雅材が宮中で決定した人事に異を唱えるような状況にはなかったこと。
- b 大納言延光が天皇に弁解を申し上げるときもなかったこと。
- c 藤原雅材が大納言延光に事情を説明するひまもなかったこと。
- d 大納言延光が蟄居していた事情を小舎人に説明するような状況にはなかったこと。
- e 藤原雅材が天皇から直接言葉を賜るような機会がなかったこと。

4 傍線部④「せ」の文法的な説明として正しいものを、次のa～eの中から一つ選びなさい。

オ

- a 使役の助動詞「す」の連用形
- b サ行変格活用動詞「す」の未然形
- c 過去の助動詞「き」の未然形
- d 尊敬の助動詞「す」の連用形
- e 四段活用動詞「ならず」の已然形活用語尾

5 傍線部⑥「かゝる事」はどのようなことを指しているのか。説明として最も適切なものを、次のa～eの中から一つ選びなさい。

カ

- a 藤原雅材がいつの間にか家主の局に棲みついていたこと。
- b 家主や雑色が枇杷の大納言延光に思わぬ恥をかかされたこと。
- c 蔵人所の雑色が自分が蔵人になったと思いきや、しまったこと。
- d 藤原雅材がこっそりと雑色の姉妹のもとに通っていたこと。
- e 怒った家主が忍んで通っていた男を局から追い出したこと。

6 傍線部⑦「雲の上」がここで指しているものとして最も適切なものを、次のa～eの中から一つ選びなさい。

キ

- a 蔵人の頭
- b 公卿
- c 帝
- d 雑色
- e 大納言

7 文章中のAに入る語句として最も適切なものを、次のa～eの中から一つ選びなさい。

ク

- a うれしき
- b いとほしき
- c をかしき
- d うるはしき
- e ありがたき

8 傍線部⑧「その作りたりける詩」について述べたものとして最も適切なものを、次のa～eの中から一つ選びなさい。

ケ

- a 深い沢で鳴く鶴のように、自分も自由に空を飛び回り、やりたいことを気ままに続けていくことができればという希望が込められている。
- b 自らを鶴にたとえ、名君に出逢うこともないまま、無為に時間だけが過ぎ老いていつてしまうという現状に対するむなしさが込められている。
- c その昔、東方の海に存在したという蓬萊山では、不思議な力を持つ仙人に出逢うと望みが叶うという伝説に対する憧れが込められている。
- d 叶いもしない大きな望みを抱いて時を過ごしているうちに、自分の容貌はいたずらに衰えてしまったという後悔の念が込められている。
- e 奥深い沢で鶴がいくら鳴いても、誰の耳にも届かないだろうけれども、それでも構わないという達観した気持ちが込められている。

9 本文の内容に合致するものとして最も適切なものを、次のa～eの中から一つ選びなさい。

コ

- a 枇杷の大納言延光は藏人の頭として村上天皇の信頼も厚かったが、優れた人物をきちんと見極められなくて天皇の怒りを買ひ、蟄居を命じられてしまった。
- b 御倉の小舎人は、藏人所の雑色の家を探し当てたのだが、家主の娘の夫である雑色に藏人の任命について正しい情報を伝えられず、家主を怒らしてしまった。
- c 家主も藏人所の雑色も、藏人に任命された喜びのあまり、親しい縁者を大勢集めて盛大に披露のための宴を催し、客からご祝儀をもらった。
- d 藤原雅材はその才を村上天皇に見いだされたが、藏人に任命され出仕する際、困窮した状態に置かれたので、いろいろと立派な衣服を賜ることとなった。
- e 藤原雅材は、中国の故事になぞらえ自分の才をひそかに自負していたので、いつか必ず天皇に詩文の才能を認められて出仕する日がくるとじっと我慢していた。

第4問 次の漢文を読んで、あとの問いに答えなさい。ただし、設問の都合上、文字を改め、送り仮名・返り点を省いた箇所がある。

子列子窮^ス。容貌有^ニ飢色^一。客有^ニ言^フ之^ヲ於^テ鄭子陽^ニ者^上。曰^ク、「列御寇^ハ①蓋^レ有道之士也。居^ニ君之國^一而窮^ス。君無^ニ乃^チ爲^レ不好^マ士^ヲ乎^ト。」② 鄭子陽即令官遺^レ之粟^一。

子列子見^ニ使者^ヲ、③再拜而辭^ス。使者去^ル。子列子入^ル。其^ノ妻望^{シテ}之^ヲ而拊^ウ心^ム曰^ク、「妾聞^ク、爲^レ有道者^ニ之妻子^一、皆得^ニ佚樂^一。今^ハ有^ニ飢色^一。」④ 君過^リ而遺^レ先生食^一、先生不受^ケ。⑤ 豈不命^レ邪^ト。」

子列子笑^{ヒテ}謂^{ヒテ}之^ニ曰^ク、「A非^ニ自知^ルニ^一也。以^テ人^ノ之言^ヲ而遺^ル我^ニ粟^一。至^ニ其罪^{スル}ニ^一我^ヲ也、又且^ニ以^テ人^ノ之言^ヲ。此吾^ノ所以^ニ不受^ケ也^ト。」

其^レ⑥卒^ニ民果^{シテ}作^{シテ}難^ヲ而殺^{セリ}子陽^ヲ。

(『莊子』 讓王第二十八による)

子列子 〓 列子にさらに子を加えて尊崇の意を示した呼称。

鄭子陽 〓 鄭の宰相。鄭は春秋時代の国。

粟 〓 穀物。

1 傍線部①「蓋」、⑥「卒」の読みとして最も適切なものを、あとのa～eの中からそれぞれ一つ選びなさい。

① 「蓋」 ア

- a がいして
- b すなはち
- c そもそも
- d けだし
- e いはゆる

⑥「卒」

イ

- a ことごとく
- b すべての
- c つひに
- d やはり
- e さいごは

2 文章中の **A** および **B** に入る語句の組み合わせとして最も適切なものを、次の a ～ e の中から一つ選びなさい。 **ウ**

- a A : 官 B : 客
- b A : 妾 B : 民
- c A : 子 B : 客
- d A : 皆 B : 子
- e A : 君 B : 我

3 傍線部②「鄭子陽即令官遺之粟」の書き下し文として最も適切なものを、次の a ～ e の中から一つ選びなさい。 **エ**

- a 鄭子陽即ち官をして之に粟を遺らしむ
- b 鄭子陽即ち官を遺はし之に粟せんとす
- c 鄭子陽即ち官に之の粟を遺らしむ
- d 鄭子陽即ち官を遺はし之の粟をあたへしめん
- e 鄭子陽即ち官に之の粟を遺らしめんとす

4 傍線部③「再拜而辭」の解釈として最も適切なものを、次の a ～ e の中から一つ選びなさい。 **オ**

- a 二度も依頼をされたが結局断った。
- b 丁寧な礼を尽くして辞退した。
- c 二度も命を受けたので謹んで拝聴した。
- d 丁寧な応対をして辞去した。
- e 何度もお願いをして帰ってもらった。

5 傍線部④「君過而遺先生食」の「過」はどのような意味で用いられているか。最も適切なものを、次のa～eの中から一つ選びなさい。 カ

- a 自分の過失を認める
- b 過分なものを提供する
- c 能力以上の評価をする
- d 優れた人材を登用する
- e 気がつかず見過ごす

6 傍線部⑤「豈不命邪」と述べられている理由として最も適切なものを、次のa～eの中から一つ選びなさい。 キ

- a 鄭の子陽は一国の宰相まで務める人物であるのに、最初から子列子の人柄を評価しようとしなかったから。
- b 時流を読んで適切な行動をしていかなないと、命などいくつあっても足りないのに、子列子はそれがわかっていないから。
- c 鄭の子陽からせっかく認めてもらおう絶好の機会だったのに、子列子のためらっているうちに、その機会を失ったから。
- d 鄭の国の政治に参画するせっかくの機会を逃してしまったのに、子列子が使者に対してゆとりを持った対応をしているから。
- e 道を体得した人の妻や子であれば、みんな安楽に暮していけると聞いていたのに、実際は困窮した生活をしているから。

7 本文の内容に合致するものとして最も適切なものを、次のa～eの中から一つ選びなさい。 ク

- a 子列子は賢人であるにもかかわらず、政治の実権をとる鄭の子陽が列子を礼遇しないのは何故なのかと民衆に批判されたので、子陽は非を認めて列子に謝罪した。
- b 列御寇は有道の士であり、その名声はあたりに鳴り響いていたので、列御寇を鄭の国の宰相に登用すべきであると遊説者が子陽に進言した。
- c 子列子の妻は夫の振る舞いを批判し、鄭の宰相である子陽の心遣いに感謝すべきと諭したが、列子は妻の考えは浅薄であるとして一笑に付した。
- d 子列子は、他者の言動に判断を左右される人は、自分に罪を問う場合でもきつと同じような振る舞いをするだろうと宰相たる者のあり方を問題にした。
- e 鄭の子陽は一国の政治を預かる宰相の身でありながら、人材の登用に難があり他者の言説を受け入れなかったため、結果的に民衆の反乱を招き殺されてしまった。

特別支援学校の受審者は二八の二六へ進んでください。

第5問 次の1～5の問いに答えなさい。

1 故事成語とその説明として適切でないものを、次のa～eの中から一つ選びなさい。

ア

- a 鼓腹撃壤
↓ 昔、堯帝が民情視察に出かけたとき、老人が腹鼓を打ち、地面を踏み鳴らして歌い、帝の恩徳に気づかないほど平和な暮らしをしていたという故事から、天下が良く治まって、人民が平和な生活を楽しむさま。
- b 宋襄の仁
↓ 春秋時代、宋の襄公が楚と戦ったとき、敵の準備が整わないうちに攻撃しようという進言を取り上げなかったため、結局破れてしまったという故事から、無益の情けのこと。
- c 舟に刻みて剣を求む
↓ 舟を切り刻んでその中から剣を探し出すという姿勢より、あり得ないことについて見通しもないのに必死になる非計画性のこと。
- d 蟻螂の斧
↓ 蟻螂が前足を振り上げて車輪に立ち向かっていく姿から、自分の実力も考えずに強敵に立ち向かっていくこと。身の程知らずの無謀さ。
- e 病膏肓に入る
↓ 春秋時代、晋の景公が重病となり、秦の名医に治療を頼んだところ、病魔が恐れて針や薬の届かない膏肓に逃げ込んだという故事から、不治の病にかかること。

2 次の説明に該当する作品として適切なものを、あとのa～eの中から一つ選びなさい。

イ

平安時代中期から後期にかけて成立した、最初の仮名文による歴史物語。三十卷の正編と十卷の続編から成り、正史である六国史の最後『三代実録』の後を継ぐ形で、宇多天皇即位から堀河天皇に至る十五代、約二百年に及ぶ貴族社会の歴史を宮廷史として編年体で記した。全編を通して藤原道長をたたえる点に重きが置かれている。

- a 将門記 b 増鏡 c 栄花物語 d 大鏡 e 水鏡

3 次の説明に該当する作家として適切なものを、あとのa～eの中から一つ選びなさい。

ウ

秋田県生まれのプロレタリア作家。没落した農家に生まれ、一家で北海道に移住したのち、苦学の末に小樽高等商業学校を出て銀行に勤める。十代から雑誌に小説を投稿していたが、左翼思想に出会ってから労働運動に関わるようになり、小説を次々と発表した。特に、昭和四年に発表された『蟹工船』は有名であり、北洋で操業する蟹工船の労働者が、非人間的な扱いに抵抗して連帯する内容は、国際的にも高く評価された。

a 徳永直 b 小林多喜二 c 葉山嘉樹 d 中野重治 e 黒島伝治

4 説話文学作品に関する説明として誤っているものを、次のa～eの中から一つ選びな

さい。

エ

a 『沙石集』は、鎌倉時代中期、一二八三年に成立した。編者は、無住である。仏教説話集であるが、それまでの説話編者が取材しなかった、尾張や関東、東海道など、独自に取材した地方の説話が多い。中世社会の庶民、地方の様子が記されている。

b 『十訓抄』は、鎌倉時代中期、一二五二年に成立した。編者は未詳であるが、六波羅二鷹左衛門入道との説もある。十の教訓に基づき、規範とすべき説話を集めたもの。啓蒙・教化の意図が強く、日常での生き方を平易に説く実用的・教養的性格をもつ。

c 『発心集』は、鎌倉時代初期、一二二二年以降の成立と推定される。編者は鴨長明である。高僧から無名の出家者まで、さまざまな出家・遁世・往生譚が収められた仏教説話集であるが、奇跡や霊験をただ感嘆をもって語るのではなく、出家・往生に伴う生々しい「心」の問題を扱うことに主眼が置かれている。

d 『今昔物語集』は、平安時代後期、一二二〇年以降に成立した。編者は未詳である。日本の世俗説話集であり、百九十七話中、百四十八話が「(これも)今は昔」で始まる。各話はその内容によって「仏教説話」、「仏教・世俗混合説話」、「世俗説話」の三種類に大別できる。

e 『古今著聞集』は、鎌倉時代中期、一二五四年に成立した。編者は橘成季である。七百余りの説話が内容によって分類され、さらにそれぞれが時代順に配列されている。王朝時代を懐古しようとする一方、鎌倉時代の卑俗な内容の説話も含む。

5 明治時代の文学の流れに関する説明として誤っているものを、次の a～e の中から一つ選びなさい。

オ

- a 明治初年ごろの小説界では、仮名垣魯文の『当世書生気質』などが文明開化の世相を描き出したことに加え、自由民権運動の高まりから政治小説も多く発表された。矢野龍溪の『安愚楽鍋』、東海散士の『佳人之奇遇』などが有名である。
- b 二葉亭四迷は写実主義の立場から『浮雲』を書き、ドイツ留学から帰国した森鷗外は『舞姫』を著して、当時の知識人の苦悩を描き出した。また、一葉亭四迷は『浮雲』や『あひびき』などで言文一致体を試み、後の文学者に大きな影響を与えた。
- c 明治二十年代には、硯友社の尾崎紅葉が登場し、晩年に発表した『金色夜叉』は男女の愛を通俗的な立場から描きベストセラーとなった。幸田露伴は『五重塔』などで東洋的な理想主義を示して紅葉と並び称され、紅露時代を築いた。
- d 徳富蘆花と国木田独歩は、ともにキリスト教の影響を受け、徳富蘇峰の主宰した民友社から作家として出発した。蘆花は『自然と人生』で、独歩は『武蔵野』で人間と自然の関わりをとらえた。
- e 明治三十九年に発表された島崎藤村の『破戒』は、日本における自然主義文学の最初の作品であった。その翌年に発表された田山花袋の『蒲団』は、自らの女弟子に対する恋心を赤裸々に告白した作品で、日本の自然主義の方向を決定づけた。

【選択問題】 中学校

第6問 次の1・2の問いに答えなさい。

1 次の(1)と(2)は、平成二十九年三月告示の中学校学習指導要領国語における「第2 各学年の目標及び内容」の第1学年及び第3学年の「1 目標」に示されている事柄である。
・に該当するものを、あとのa～eの中からそれぞれ一つ選
 びなさい。

(1) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、ことができるようにする。

- a 言葉による見方・考え方を働かせ、その特質を理解する
- b 言語感覚を豊かにして国語を尊重する態度を養う
- c 自分の思いや考えを広げたり深めたりする
- d 我が国の言語文化に親しんだり理解したりする
- e 言語活動を通して、論理的に考える力や想像力を養う

(2) 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、。

- a 思いや考えを伝え合おうとする態度を養う
- b 論理的に考える力や共感したり豊かに想像したりする力を養う
- c 互いの立場や考えを尊重して話し合うことができるようにする
- d 国語を尊重してその能力の向上を図ることができるようにする
- e 実社会への生かし方を考えようとする態度を養う

2 次の(1)～(3)は、『中学校学習指導要領解説 国語編』(平成二十九年七月)に示されている「内容」に関する問題である。それぞれの問いに答えなさい。

- (1) 次の文章は、第3学年の内容 1 「知識及び技能」(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項「語彙」に関する解説の一部である。文章中の **ウ** に該当するものを、あとのa～eの中から一つ選びなさい。

和語、漢語、外来語の中の和語とは古くから日本で使われてきた語を、漢語とは漢字の音を使った語を、外来語とは中国語以外の外国語から日本語に入ってきた語を指す。話や文章で表現する際に、**ウ** などとして、微妙な言葉の違いについて知り、語感を磨くことが重要である。

- a 語句の由来に注意して和語、漢語、外来語の使い分けを考える
- b 国際的な視野に立って和語、漢語、外来語を適切に使う
- c 機を捉えて和語、漢語、外来語の使い分けを考える
- d 学習の目的に合わせて和語、漢語、外来語を適切に使う
- e 既習内容を踏まえて和語、漢語、外来語の使い分けを考える

- (2) 次の文章は、第2学年の内容 2 「思考力、判断力、表現力等」A 話すこと・聞くことの「話題の設定、情報の収集、内容の検討」に関する解説の一部である。文章中の **エ** に該当するものを、あとのa～eの中から一つ選びなさい。

異なる立場や考えを想定するとは、自分とは異なる立場や考えの聞き手がいることを踏まえ、**エ** ことである。社会生活の中の出来事や事象は、様々な価値観や文化を背景にしており、自分の考えを伝える際には、異なる立場や考えをもつ聞き手の存在を意識することが重要である。

- a 聞き手から反論されたり意見を求められたりすることを具体的に予想する
- b どのような状況で話したり聞いたり話し合ったりするのかを具体的に考える
- c 聞き手との信頼性などを確認しながら伝え合う内容を分かりやすく示す
- d 状況に応じて言葉を選び、自分の考えが分かりやすく伝わる話し方を工夫する
- e 設定した話題や検討した内容が、それらに合っているかどうかを判断する

- (3) 次の文章は、第1学年の内容 2 「思考力、判断力、表現力等」B 書くことの「構成の検討」に関する解説の一部である。文章中の オ に該当するものを、あとのa～eの中から一つ選びなさい。

小学校第3学年及び第4学年のイの「書く内容の中心を明確に」すること、第5学年及び第6学年のイを受けて、書く内容の中心が明確になるように、文章の構成や展開を考えることを示している。第1学年では、オ ことに重点を置いている。

書く内容の中心が明確になるようにするには、内容の中心とした事柄が際立つように構成や展開を考える必要がある。このことによって、それに付随する事柄も整理される。

- a 根拠の適切さを考える
- b 伝えたいことを明確にする
- c 事実と意見を区別する
- d 表現の仕方を工夫する
- e 段落の役割などを意識する

【選択問題 高等学校】

第6問 次の1・2の問いに答えなさい。

1 次の(1)と(2)は、平成三十年三月告示の高等学校学習指導要領国語における「第1款 目標」に示されている事柄である。アとイに該当するものを、あとのa～eの中からそれぞれ一つ選びなさい。

(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解しアことができるようにする。

- a 効果的に表現する
- b 適切に使う
- c 深く学ぶ
- d 論理的に述べる
- e 主体的に活用する

(2) 生涯にわたる社会生活におけるイを伸ばす。

- a 他者との関わりの中で理解し合う力を高め、思考力や想像力
- b 他者との関わりの中で伝え合う力を高め、理解力や表現力
- c 他者との関わりの中で学び合う力を高め、思考力や想像力
- d 他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力
- e 他者との関わりの中で学び合う力を高め、思考力や表現力

2 次の(1)～(3)は、『高等学校学習指導要領解説 国語編』(平成三十年七月)における「第1章 総説」の「第4節 国語科の内容」と「第5節 国語科の科目編成」に関する問題である。それぞれの問いに答えなさい。ただし、(1)と(2)は「第4節 国語科の内容」、(3)は「第5節 国語科の科目編成」に示されている事柄である。

(1) 次の文は、「2〔知識及び技能〕の内容」(3)我が国の言語文化に関する事項の「言葉の由来や変化、多様性」に関する解説の一部である。文中の **ウ** に該当するものを、あとのa～eの中から一つ選びなさい。

今回の改訂では、中学校書写との接続を意識して、共通必修科目「言語文化」において、**ウ** について理解を深めることを新設している。

- a 文字の変化
- b 言葉の変化
- c 文体の変化
- d 地域文化の多様性
- e 文字文化の特徴

(2) 次の文は、「3〔思考力、判断力、表現力等〕の内容」の「B 書くこと」の「題材の設定、情報の収集、内容の検討」に関する解説の一部である。文中の **エ** に該当するものを、あとのa～eの中から一つ選びなさい。

「題材の設定」については、「現代の国語」では、実社会の中から、「言語文化」では、自分の知識や体験の中から、「論理国語」では、**エ** について、「文学国語」では、文学的な文章を書くために、「国語表現」では、実社会の問題や自分に関わる事柄の中から集めることを示し、発達の段階や科目の性格に応じて題材を決める範囲を広げている。

- a 日常の言語生活と結び付いた事柄
- b 学術的な学習の基盤となる事実や事象
- c 自分の思いや考えを伝えるために必要な情報
- d 社会的な話題に対する多様な考え方や異なる価値観
- e 実社会や学術的な学習の基礎に関する事柄

(3) 次の文章は、「1 科目の編成」に関する解説の一部である。文章中の **オ** に該当するものを、あとの a～e の中から一つ選びなさい。

「現代の国語」は、**オ** 科目として、「知識及び技能」における「(1)言葉の特徴や使い方に関する事項」、「(2)情報の扱い方に関する事項」、「(3)我が国の言語文化に関する事項」、「思考力、判断力、表現力等」における「A 話すこと・聞くこと」、「B 書くこと」、「C 読むこと」の領域から内容を構成した科目である。

「言語文化」は、上代から近現代に受け継がれてきた我が国の言語文化への理解を深める科目として、「知識及び技能」における「(1)言葉の特徴や使い方に関する事項」、「(2)我が国の言語文化に関する事項」、「思考力、判断力、表現力等」における「A 書くこと」、「B 読むこと」の領域から内容を構成した科目である。

- a 実社会における我が国の伝統的な言語文化への理解を深める
- b 実社会において必要となる感性・情緒をはぐくむことを重視する
- c 実社会において求められる総合的な言語能力を育成する
- d 実社会における国語による諸活動に必要な資質・能力を育成する
- e 実社会において必要となる論理的・批判的能力の育成を重視した

【選択問題 特別支援学校】

第6問

- 1 特別支援学校の対象となる障害の程度は、学校教育法施行令（昭和28年政令第340号）第22条の3で、次の表のとおり定められている。それぞれの障害の程度について、～に該当する語句を、それぞれ下のa～dから一つ選びなさい。

区分	障害の程度
視覚障害者	両眼の視力がおおむね <input type="text" value="ア"/> 未満のもの又は視力以外の視機能障害が高度のもののうち、拡大鏡等の使用によつても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度のもの
聴覚障害者	両耳の聴力レベルがおおむね <input type="text" value="イ"/> デシベル以上のものうち、補聴器等の使用によつても通常の話声を解することが不可能又は著しく困難な程度のもの
知的障害者	一 知的発達の遅滞があり、他人との意思疎通が困難で日常生活を営むのに頻繁に援助を必要とする程度のもの 二 知的発達の遅滞の程度が前号に掲げる程度に達しないものうち、 <input type="text" value="ウ"/> への適応が著しく困難なもの
肢体不自由者	一 肢体不自由の状態が補装具の使用によつても歩行、筆記等日常生活における <input type="text" value="エ"/> が不可能又は困難な程度のもの 二 肢体不自由の状態が前号に掲げる程度に達しないものうち、常時の医学的観察指導を必要とする程度のもの
病弱者	一 慢性の呼吸器疾患、腎臓疾患及び神経疾患、悪性新生物その他の疾患の状態が継続して医療又は <input type="text" value="オ"/> を必要とする程度のもの 二 身体虚弱の状態が継続して <input type="text" value="オ"/> を必要とする程度のもの

a 0.1 b 0.2 c 0.3 d 0.4

a 50 b 60 c 70 d 80

a 家庭生活 b 学校生活 c 社会生活
d 職業生活

a 連続的な動作 b 初歩的な動作 c 基本的な動作
d 目的的な動作

a 生活規制 b 運動規制 c 生活の管理
d 体調の管理

2 次の文は、中央教育審議会（答申）『令和の日本型学校教育』の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～（令和3年1月26日）」の「第Ⅱ部 各論 4. 新時代の特別支援教育の在り方について」の一部である。文中の□カ～□クに該当する語句を、それぞれ下のa～dから一つ選びなさい。

(4) 関係機関の連携強化による切れ目ない支援の充実

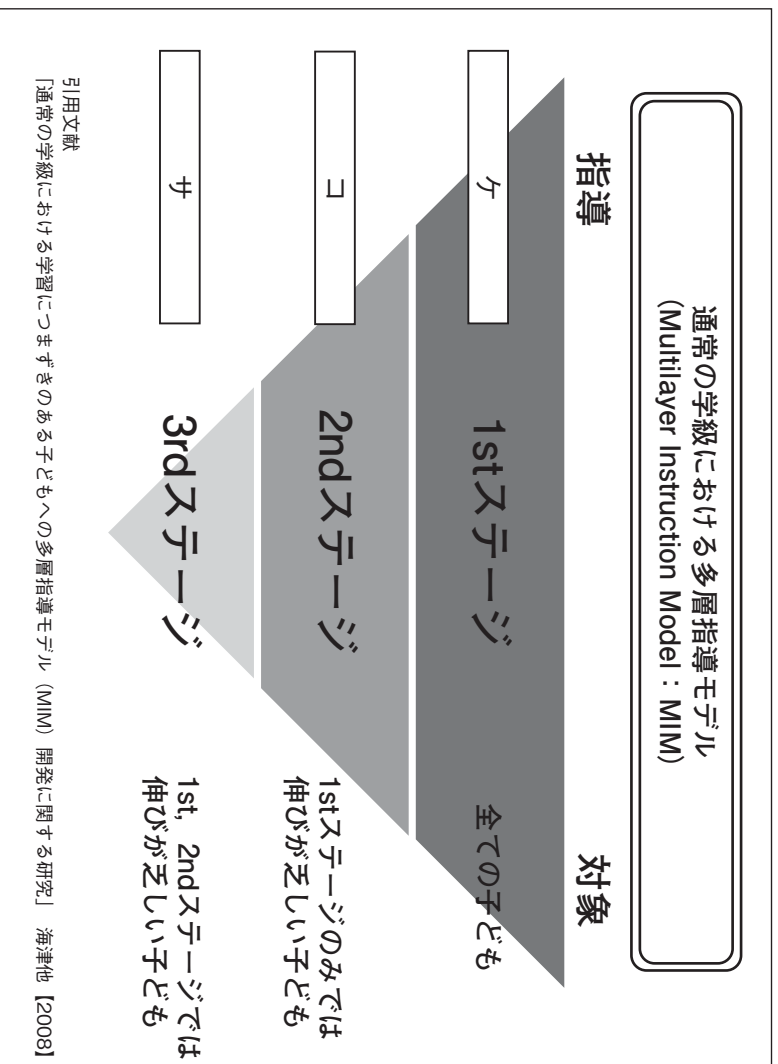
○特別支援学校におけるキャリア教育では、学校で学ぶことと□カ□との接続を意識させ、一人一人の社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を育み、キャリア発達を促すことが重要である。そのため、早期からのキャリア教育では、保護者や身近な教師以外の大人とのコミュニケーションの機会や、□キ□を高める経験、産業構造や進路を巡る環境の変化等の現代社会に即した情報等について理解を促すような活動が自己のキャリア発達を促す上で重要であることから、その実施に当たっては、地域の□ク□関係機関との連携等による機会の確保の充実が必要である。

□カ a 家庭 b 福祉 c 社会 d 企業

□キ a 倫理観 b 自己肯定感 c 生活能力 d マタ認知能力

□ク a 医療 b 就労 c 保健 d 福祉

- 3 高知県教育委員会で作成した『すべての子どもが「分かる」「できる」授業づくりがイドブツク』(平成25年3月)において、次の図は、通常の学級における多層指導モデルとして示されている。図の ～ に当てはまる語句を、下の a～d から一つずつ選びなさい。



- a 通常の学級内での補足的な指導
- b 補足的・集中的・柔軟な形態によるサービシ的な指導
- c 通常の学級内での効果的な指導
- d 補足的・集中的・柔軟な形態による特化した指導

